

編集後記

今年度は、3月末日をもって豊橋教職課程センターに復帰していただいていた竹内輝先生がお辞めになられ、新たに河野宏雄先生に来ていただきました。竹内輝先生には豊橋教職課程センターが大変な時期に助けていただき感謝しております。また河野宏雄先生がこれまでの経験を活かされてご活躍されることを願っております。

そんな中、この1年も新型コロナウイルス感染症への対応で右往左往しつつ、コロナが日常になり、対面授業も増えて、少し前の大学に戻りつつあるというのは、素直な実感であります。ただしそうはいつでも、普段はマスクをしておりますし、感染の波が高い時には学生からの特別配慮願いのメールが入ってくるため、完全にいつもの大学に戻ったわけではありません。1930年代のスペイン風邪の大流行の時には終息におよそ2年から3年がかかったとも読んだことがあります。この新型コロナウイルス感染症もそろそろ終わりが見えているのかもしれませんが。

編集後記を書いている岡田自身がこの2年間、コロナだけではなくいろいろなことが重なって論文を書く余裕がなかったのが正直なところです。そして今年やっと久しぶりに1本、論文を書きました。これも少しは世情が落ち着きつつある事を反映しているのでしょうか。

(岡田圭二)

愛知大学教職課程研究年報 第12号

2023年2月20日発行

編集・発行 『愛知大学教職課程研究年報』編集委員会
〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町四丁目60番6
(電話 052-564-6112)
印刷 株式会社 荒川印刷
